

# 小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。  
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	社会「ごみはどこへ」
学年	小学校第4学年
目標	ごみの量を減らすために自分にできることを意欲的に考えることができる。
教材タイプ	ビジュアル言語+制御教材
使用教材	LEGO WEDO2.0
環境	児童用タブレット PC 10台を使用
都道府県	神奈川県相模原市
実施校	相模原市立九沢小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>1 めあてを確認しよう 「ごみの量を減らすために工夫できることを考えよう。」 ゴミ箱には、ゴミを捨てておくだけでなく、様々な工夫をすることで、ゴミ減少に貢献する役割があります。そこで、コンピュータの力を利用した、ゴミ減少に役立つゴミ箱の提案を考えてみましょう。</p> <p>2 課題を確認しよう 「ゴミ減少に役立つゴミ箱を考えよう。」 ①自動開閉式のゴミ箱をつくらう。 ②自動開閉式ゴミ箱づくりの経験をもとに、ごみの減少に貢献しそうなゴミ箱を考えてみよう！</p> <p>3 まとめ 学習を振り返り、今日気付いたことを確認しよう。 <input type="checkbox"/> 体験を通して、ごみの量を減らしている人々は、どのような工夫や努力をしていると思いましたか。教えてください。 <input type="checkbox"/> ごみを減らすために、今日からあなたにできることは何ですか？</p>
成果と課題	「ゴミを減らす」という社会問題をプログラミングを使って、解決しようとする態度を育てることができた。

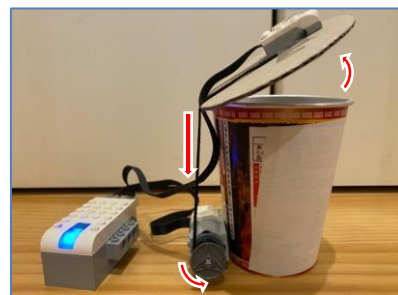


図 作成するモデルやプログラム